



2025年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年3月14日

上場会社名 インспек株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6656 URL <https://www.inspec21.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 菅原 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 佐藤 保 TEL 0187-54-1888
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年4月期第3四半期の業績 (2024年5月1日～2025年1月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期第3四半期	1,368	198.2	△57	—	△71	—	△322	—
2024年4月期第3四半期	459	△55.8	△412	—	△435	—	△460	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期第3四半期	△80.45	—
2024年4月期第3四半期	△115.02	—

(注) 2024年4月期第3四半期及び2025年4月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期第3四半期	3,008	769	18.7
2024年4月期	3,739	1,079	23.6

(参考) 自己資本 2025年4月期第3四半期 561百万円 2024年4月期 883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年4月期	—	0.00	—		
2025年4月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2025年4月期の業績予想 (2024年5月1日～2025年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	31.9	100	—	100	—	△150	—	△37.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 当社では年次での業績管理を行っておりますので、第3四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年4月期3Q	4,006,800株	2024年4月期	4,006,800株
② 期末自己株式数	2025年4月期3Q	192株	2024年4月期	192株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年4月期3Q	4,006,608株	2024年4月期3Q	4,004,937株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2024年5月1日～2025年1月31日)における世界経済は、原材料・エネルギー価格の高止まり、物価の上昇、米国新政権による今後の政策動向、中国経済の先行き懸念、ウクライナや中東地域での地政学リスクの長期化など、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済につきましては、雇用・所得環境の持ち直しや経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような経営環境の中、当社の当第3四半期累計期間の売上状況につきましては、主に中国向け案件において、一部の納入先の設備投資計画がずれ込んだことが影響し、当社製品の納入時期も後ろ倒しになったことなどにより、当該期間の売上高は期初の計画を下回りました。

当第3四半期累計期間の受注状況につきましては、2025年1月20日付「大型受注に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、当社の主力製品であるロールtoロール型検査装置及び高性能フラットベッド型検査装置の受注を国内外の顧客から複数台獲得し、受注高は1,736百万円(前年同期比77.4%増)となる一方で、当第3四半期会計期間末における受注残高は、当該期間末までに受注案件を売上計上したことにより1,012百万円(前年同期比41.5%減)となりました。

また、当社は販促活動の一環として2025年1月22日～24日に東京ビッグサイトで開催されました「オートモーティブワールド2025 第17回国際カーエレクトロニクス技術展(主催:RX Japan株式会社)」に初出展いたしました。国内外から多くの来場客が訪れ、車に関する先端テーマを扱われている企業の方々から商談に繋がるお問い合わせをいただくなど、新たな顧客との接点を構築し、当社の製品や技術をPRする有用な機会となりました。

当社の主力事業である半導体パッケージ基板市場は、生成AI対応データセンター向けの大規模投資が継続する見通しであることから最新の半導体パッケージ及びインターポザー(※1)向け高性能検査装置のニーズの更なる拡大が見込まれております。これに加え、半導体の高性能化に伴うチップレット(※2)化が急速に進み、半導体大手の前工程メーカーが後工程のパッケージ基板製造への投資を活発化させており、当社が強みを持つ高性能半導体パッケージ基板検査装置需要の高まりは当面続いていくものと予想しております。今後も更なる市場の拡大が続く半導体パッケージ基板分野を中心に当社の強みを生かし、技術開発と営業活動を一層強化しながら、受注獲得へ向け全社一丸となって取り組んでまいります。

以上の結果、当社の当第3四半期累計期間の売上高は1,368百万円(前年同期比198.2%増)、営業損失は57百万円(前年同期は営業損失412百万円)、経常損失は71百万円(前年同期は経常損失435百万円)、事業撤退損247百万円を特別損失として計上したことにより四半期純損失は322百万円(前年同期は四半期純損失460百万円)となりました。

なお、事業撤退損の詳細につきましては、本日公表の「露光装置事業からの撤退、特別損失の計上、業績予想の修正及び剰余金の配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は「基板検査装置関連事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の業績は記載しておりません。

※1 半導体チップとパッケージ基板の間を配線する微細な再配線層、高性能半導体の重要部材

※2 半導体を複数の小さなチップに分けて製造、組み合わせる一つのパッケージ基板に収める技術

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ730百万円減少し、3,008百万円となりました。これは主に、現金及び預金259百万円の減少、受取手形、売掛金及び契約資産324百万円の減少、電子記録債権272百万円の増加、仕掛品185百万円の減少、機械及び装置230百万円の減少によるものであります。

負債の部では、前事業年度末に比べ421百万円減少し、2,238百万円となりました。これは主に、短期借入金300百万円の減少及び長期借入金115百万円の減少によるものであります。

純資産の部では、前事業年度末に比べ309百万円減少し、769百万円となりました。これは主に、四半期純損失322百万円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月期通期の業績につきましては、本日公表の「露光装置事業からの撤退、特別損失の計上、業績予想の修正及び剰余金の配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」のとおりとなります。

足元の状況につきましては、フラットベッド型検査装置を中心に受注を獲得しており、期初から発表日現在の受注高は、2,055百万円、受注残高は1,330百万円となっております。今後につきましては、「オートモーティブワールド2025 第17回国際カーエレクトロニクス技術展」での引き合いをはじめ、活況を呈している生成AI関連の半導体を中心とした高性能な半導体パッケージ基板検査装置の商談が受注に結び付くよう注力してまいります。

また、当社は2025年3月6日～8日にタイ・バンコクで開催されました「Intelligent Asia Thailand」に出展し、さらに2025年3月24日～26日に中国・上海で開催される「CPCA Show 2025」への出展も予定しております。引き続き海外においても積極的に当社製品をアピールし、より多くの商談に結び付けられるよう、国外の受注活動も強化してまいります。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	738,586	479,203
受取手形、売掛金及び契約資産	822,173	497,866
電子記録債権	102,469	374,731
仕掛品	867,471	682,383
原材料及び貯蔵品	201,574	191,930
その他	53,777	31,353
流動資産合計	2,786,053	2,257,468
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	440,734	419,780
構築物（純額）	21,263	19,207
機械及び装置（純額）	233,107	2,619
車両運搬具（純額）	68	16
工具、器具及び備品（純額）	49,369	37,820
リース資産（純額）	16,754	10,417
土地	95,440	95,440
建設仮勘定	45,367	128,828
有形固定資産合計	902,104	714,129
無形固定資産		
その他	41,177	27,721
無形固定資産合計	41,177	27,721
投資その他の資産		
その他	10,180	9,338
投資その他の資産合計	10,180	9,338
固定資産合計	953,461	751,190
資産合計	3,739,515	3,008,659
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,805	77,481
短期借入金	1,500,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	154,224	154,224
未払法人税等	4,773	6,312
未払消費税等	—	20,774
契約負債	51,461	48,964
製品保証引当金	4,531	2,739
賞与引当金	34,307	17,358
役員賞与引当金	3,000	3,000
その他	72,184	57,381
流動負債合計	1,887,288	1,588,236
固定負債		
長期借入金	661,310	545,642
長期未払金	95,992	95,992
繰延税金負債	2,809	2,025
リース債務	12,632	6,578
資産除去債務	317	318
固定負債合計	773,060	650,557
負債合計	2,660,349	2,238,794

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	810,462	810,462
資本剰余金	211,516	211,516
利益剰余金	△137,943	△460,272
自己株式	△426	△426
株主資本合計	883,607	561,279
新株予約権	195,558	208,585
純資産合計	1,079,166	769,864
負債純資産合計	3,739,515	3,008,659

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
売上高	459,135	1,368,980
売上原価	249,100	805,285
売上総利益	210,035	563,695
販売費及び一般管理費	622,200	621,311
営業損失(△)	△412,164	△57,615
営業外収益		
受取利息	4	31
為替差益	5,105	50
貸倒引当金戻入額	—	483
補助金収入	3,630	31,069
雑収入	1,450	119
その他	1,139	1,129
営業外収益合計	11,329	32,885
営業外費用		
支払利息	24,641	26,651
貸倒引当金繰入額	3,994	—
手形売却損	2,132	1,384
株式交付費	1,291	—
シンジケートローン手数料	2,372	17,870
その他	—	450
営業外費用合計	34,431	46,357
経常損失(△)	△435,266	△71,088
特別利益		
固定資産売却益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
固定資産圧縮損	3,630	—
事業撤退損	—	※ 247,134
特別損失合計	3,630	247,134
税引前四半期純損失(△)	△438,846	△318,222
法人税、住民税及び事業税	2,696	4,889
法人税等調整額	19,089	△783
法人税等合計	21,786	4,106
四半期純損失(△)	△460,633	△322,328

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※ 事業撤退損

露光装置事業からの撤退に伴い生じた損失247,134千円を、事業撤退損として特別損失に計上しております。その内訳は、棚卸資産58,721千円、固定資産187,763千円及びその他資産649千円となります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	146,326千円	110,065千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、基板検査装置関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。